

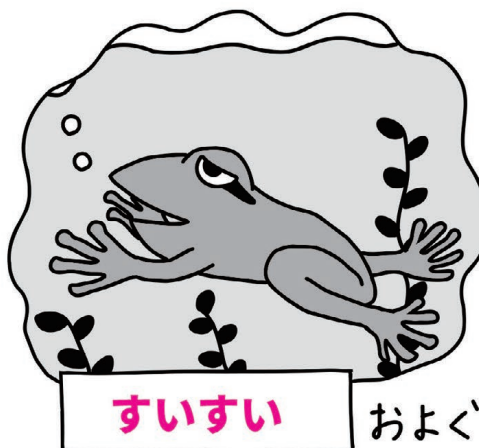
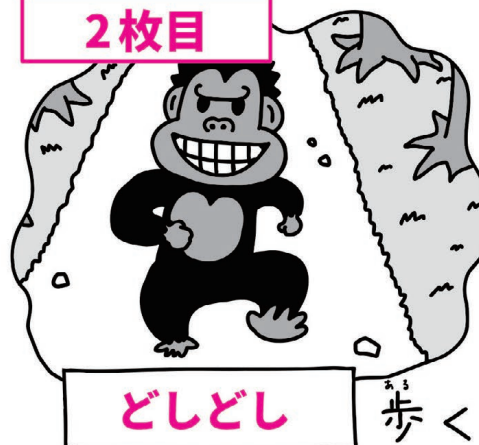


1枚目

おなか ^が いたい
ゆび ^で つつく
^{かぜ} 風 ^が ふく
^{ほし} 星 ^が ^{ひか} 光る
^{にく} きん肉 ^が すじい

- ゆらゆら
- もりもり
- きらきら
- どしどし
- つんつん
- ずきずき
- ふにふに
- びんびん

2枚目



さっき、^{もり} 森を **てくてく** ^{ある} 歩いてたら ^{ころ} 転んじゃって、
^か 買ったばかりの **ぴかぴか** ^{ばんつ} のパンツがどろだらけ。
それを、おうちで **ごしごし** あらって、ほしたら
^{あめ} 雨が **しとしと** ふってきて、せっかくあった
パンツが **べちゃべちゃ** になっちゃったの。

おな
同じものもあれば、ちがうものもあるね

みんなも、ほかの人とくらべてみるのです

たのしーと
すき！がみつかる放課後



こんな時、きみはどんな音でイメージを伝えるかな？
ぱたりだと思ふものを、線でつなごう。

〈あそびのねらい〉

・「音」と「イメージ」をつなぐ言葉、いわゆるオノマトペであそびます。前半は様子を「イメージ」して、どんな「音」で表すかを考えて文字で答えます。後半は「音」を聞いて（読んで）、「イメージ」したものを絵で表現します。

・オノマトペは、感じたことを相手に伝える上で、ときに有効な手段となることもあります。

・友達とシートを見せ合い、同じところや違いがどこにあるかを見つけてみましょう。



〈声かけのヒント〉

・雨の降り方ひとつでも「ざあざあ・しとしと・ぽつぽつ」など、いろいろな表現があることを紹介し、オノマトペについてのイメージをふくらませます。

・どのワークも、子どもが感じたまま記入するように促します。解答例と同じでなくても OK。子どもならではの柔軟な発想で新しく生まれたオノマトペを楽しみましょう。

〈おはなしーとの記入例〉

